

上田市地域公共交通計画 4. 1 評価指標と目標値の進捗状況

目標に対する達成状況

		目標値	基準値	実績値					
		-	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
評価指標 1：人口1人あたりバス利用回数		8.3回	6.3回	6.6回	回	回	回	回	
		総利用者数： 1,013,097人／当該年度10月1日現在人口： 152,829人							
		達成状況に関する考察	・新型コロナウイルスの5類移行、観光需要の回復により利用者が増加したと考察する。						
		改善策、今後の方針等について	・利用促進イベントやTicketQR等による利便性向上施策、運転手確保施策を継続して実施する。						
評価指標 2：人口1人あたり別所線利用回数		7.8回	6.3回	6.8回	回	回	回	回	
		総利用者数： 1,046,449人／当該年度10月1日現在人口： 152,829人							
		達成状況に関する考察	・新型コロナウイルスの5類移行、観光需要の回復により利用者が増加したと考察する。						
		改善策、今後の方針等について	・利用促進イベントやTicketQR等による利便性向上施策を継続して実施する。						
評価指標 3：バス事業における収支率		28.0%	28.0%	30.10%	%	%	%	%	
		路線収益： 148,847,951円／経常費用： 493,822,184円							
		達成状況に関する考察	・新型コロナウイルスの5類移行、観光需要の回復により利用者が増加したと考察する。						
		改善策、今後の方針等について	・利用促進イベントやTicketQR等による利便性向上施策を継続して実施する。						
評価指標 4：利用者1人あたりバス運行経費に係る年間経常費用（公的資金投入額）		600円/人 （403円/人）	600円/人 （403円/人）	560円/人 （363円/人）	円/人	円/人	円/人	円/人	
		運行に係る年間経常費用： 567,397,030円（運行に係る公的資金投入額： 368,203,846円）／総利用者数： 1,013,097人							
		達成状況に関する考察	・修繕費等の減少により年間経常費用が減少したと同時に総利用者数増によって1人あたりの費用が減少した。						
		改善策、今後の方針等について	・利用促進イベントやTicketQR等による利便性向上施策、運転手確保施策を継続して実施する。						
評価指標 5：QRコード決済アプリ利用率		50.0%	13.22%	17.00%	%	%	%	%	
		キャッシュレス利用者数： 287,304人／総利用者数： 2,047,457人							
		達成状況に関する考察	・TicketQR利用促進施策やアンケートの実施によって徐々に利用率が向上している。						
		改善策、今後の方針等について	・TicketQRの共通券化などより利便性が高いサービスの提供を目指すとともに、引き続き利用促進施策を実施する。						
評価指標 6：GTFS整備率		100%	31.80%	31.80%	%	%	%	%	
		GTFS整備済路線数： 7 路線／定時定路線数： 2 2 路線							
		達成状況に関する考察	・バス事業者の人材不足からGTFS整備が進んでいないことが考察できる。						
		改善策、今後の方針等について	・県が進めるGTFS整備への研修会参加を事業者に促す。						

上田市地域公共交通計画 4. 2 目標を達成するために取り組む事業の進捗管理（個別事業における取組状況）

事業名		実施 状況	実施内容等
(1) 運行の維持・確保			
①	地域鉄道運行におけるサービス水準の最適化	○	・運行経費補助金の交付（16,857千円） ・鉄道軌道安全輸送設備等整備事業補助金の活用（72,780千円※令和6年度への繰越し除く。） ・別所線安全対策事業費補助金（1,004千円）
②	バス（幹線・支線・地域・広域・その他）運行におけるサービス水準の最適化	○	・地域公共交通確保維持改善事業費補助金の活用（368,203千円） ・まちのバス大集合、保育園児を対象としたバスの乗り方教室等の開催
③	デマンド交通運行におけるサービス水準の最適化	○	・丸子デマンド交通（1日平均17.9人 委託費3,792千円（約半年間。また、オペレーターは直営） ・武石スマイル号の運行（1日平均28.1人 事業費17,082千円） ・丸子デマント交通における新ミーティングポイントの追加（8箇所）
④	交通事業者の人材確保への支援	○	・バスの乗車体験ができる会社説明会の開催（3月）。参加12名採用2名 ・まちのバス大集合、保育園児を対象としたバスの乗り方教室等の開催
(2) 多様な移動手段の連携によるネットワークの強化			
①	幹線・支線鉄道、幹線・支線バス、地域バスとの接続確保及び改善	○	・交通分野における課題共有等を目的とした交通事業者と上田市長との懇談会実施（8月）
②	きめ細かなサービスが可能なタクシー事業の活用	-	・（今後）チケットQRとの連携の検討 ・（今後）タクシーを気軽に利用できる環境づくり
③	地域等が主体となった移動手段の確保	○	・地域の関係者等からの相談対応や他地域への情報提供 ・（今後）地域検討会への出席（地域交通事業者含む。）及び各種情報提供
④	シェアサイクルと交通機関との連携	○	・上田市・千曲市広域シェアサイクル社会実験の実施（令和5年度の期間中1日平均37回の利用）（令和6年度から社会実装）
(3) わかりやすく使いやすい利用者支援策の確立			
①	運賃低減バスの運行継続	○	・施策の効果検証及び利用促進に周知・PR（チラシの作成） ・（今後）第4期の終期（令和7年9月）に向けた検証
②	乗継割引制度の継続、拡充の検討	○	・乗り継ぎ割引の実施 ・（今後）共通券化の検討
③	通学定期券購入補助の継続、拡充の検討	○	・通学定期券購入補助の実施（高等学校通学費等補助5,542,466円） ・通学定期出張販売窓口の実施
④	高齢者の外出支援制度の導入検討	○	・運転免許証自主返納促進事業の実施（1,789,400円） ・移動支援策に係る庁内協議
(4) 行動変容に向けたモビリティマネジメントの推進			
①	利用者に応じたわかりやすい公共交通の案内、情報発信	○	・マイレールチケットの販売 ・上田駅、大屋駅の乗継案内表示板の更新
②	高校生の通学手段の公共交通利用への転換促進	○	・通学利用促進チラシの配布
③	バスの乗り方教室の開催	○	・保育園でのバスの乗り方教室（3園） ・高齢者サロン等におけるバスの乗り方教室（1箇所）

事業名		実施 状況	実施内容等
	④ 小学生夏休みキッズバス事業の実施	○	・キッズバス事業の実施（実績額1,147,110円）
(5) 利用促進に向けたサービスや機能の拡充			
	① キャッシュレス化（QRコード決済）の推進	○	・QRコードの共通化等の検討 ・（今後）蓄積される乗降データの整理、分析等
	② バスロケーションシステムの有効活用及び運行情報のオープンデータ化（GTFS）	-	・（今後）GTFS整備率の向上
	③ 安心・安全に利用できる環境の整備	○	・パークアンドライド駐車場の維持 ・病院等における公共交通の案内表示
	④ 先進技術（EV車両、自動運転）を活用した新たなモビリティの導入に向けた調査研究	○	・民間企業の自動運転実証実験に対する包括的な支援 ・スマートモビリティチャレンジ推進協議会へ加入 ・先進地視察（塩尻市：自動運転実証実験／豊島区：イケバス）
(6) 他分野との連携による移動需要の創出			
	① 観光資源を活かす公共交通の運行	○	・観光案内所、公共施設等への時刻表の配布、設置
	② 商業施設等と連携した利用促進策の実施	○	・アリオ上田と連携した上田バスお帰りきっぷ企画 ・駅前飲食店における別所線の割引企画